

派遣専門家オリエンテーション資料

インドネシア・メダン編

Republic of Indonesia

任国情報

1995年

JICA LIBRARY

J 1124707 (9)

国際協力事業団

国際協力総合研修所

JICA
C108
20
11C
BRARY

はしがき

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家およびJICA役職員等に、任国での生活上必要な事項についての情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家、プロジェクト調整員、また協力隊調整員等JICA関係者の皆様より多大な御協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関の御好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も、本書の内容を一層充実させ、常に、新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

平成7年3月
国際協力事業団
国際協力総合研修所長



1124707 [9]

目次

I 概 況	1
II 生活事情	8
1. 食 生 活	8
2. 衣 料	13
3. 住 宅	14
4. 医 療	16
5. 教 育	18
6. 家庭の使用人	19
7. 交通事情	20
8. 通 信	21
9. マスコミ	22
10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ	23
11. その他のサービス	28
12. 観 光	29
13. 治安、緊急時の心得	31
14. 出入国手続および帰国手続	32
15. 私財の輸送、引き取り、購入	33
16. 社 交	35
17. 任国官公庁	36
18. 在外日本関係機関など	37
19. 地方都市	38

I 概 況

表1：インドネシア概況

a) 正式国名	(和文) インドネシア共和国 (英文) Republic of Indonesia
b) 独立年月日 旧宗主国	1945年8月17日 オランダ
c) 政 体	共和制
d) 元首の名称	大統領：スハルト (Soeharto) (1993年3月6選、任期5年)
e) 位置・面積	北緯6～南緯11度、東経95～141度 1,905千平方キロメートル (注1)
f) 首 都	ジャカルタ (Jakarta)
g) 総人口	181百万人 (1991年) (注1)
h) 民族等	300以上の種族からなる多民族国家で、主なものとしては、ジャワ族、スンダ族、ミナンカバウ族などがあげられる。
i) 公用語	インドネシア語
j) 宗 教	9割近くの国民がイスラム教徒であるが、信仰の自由は認められており、キリスト教徒、ヒンズー教徒、仏教徒なども存在する。
k) 暦	<p><日本との時差></p> <p>－2時間 (スマトラ、ジャワ、マドゥラ、西カリマンタン、中央カリマンタン)</p> <p>－1時間 (東カリマンタン、南カリマンタン、スラウェシ、バリを含むヌサトゥンガラ諸島)</p> <p>0時間 (マルク諸島、イリアン・ジャヤ)</p> <p><祝祭日> (1994) (注2)</p> <p>1月1日 新年</p> <p>* 1月10日 モハメット昇天祭 (Mi'raj Nabi SAW)</p> <p>* 3月14日 イドゥ・アル・フィットリ (Id al-Fitr)</p> <p>* 4月1日 キリスト受難日</p> <p>* 5月12日 キリスト昇天祭</p> <p>* 5月21日 イドゥル・アドハ (Id al Adha)</p> <p>* 6月10日 イスラム暦新年</p> <p>8月17日 インドネシア共和国独立宣言記念日</p> <p>* 8月19日 モハメット降誕祭 (Maulid Nabi SAW)</p> <p>12月25日 クリスマス</p> <p>* 12月30日 モハメット昇天祭 (Mi'raj Nabi SAW)</p> <p>(*は毎年日が変わる祝祭日)</p>

出所 (注1) World Development Report 1993 The World Bank

(注2) The Europa World Year Book 1993 Europa Publications Limited

(1) 国土の概要

国名のインドネシアは、ギリシャ語の「インドス (Indos)」と「ネソス (Nesos)」という2つの単語からなっており、「東インドの島々」という意味を持つ。その名のとおり、インドネシアは赤道をはさんで北緯6度から南緯11度、東経95度から141度に位置する、ジャワ、スマトラ、カリマンタン、スラウェシ、イリアン・ジャヤ等大小1万3千あまりの島々から成る世界最大の島嶼国家である。南北1,900キロメートル、東西5,100キロメートルに及び、その面積は1,905千平方キロメートルで日本の5倍ほどである。ジャワ島には全人口の6割が居住しており、首都ジャカルタが、政治・経済・文化の中心となっている。海をはさんで南はオーストラリア、北はフィリピンに、またカリマンタン島でマレーシア、イリアン・ジャヤでパプア・ニューギニアに接している。石油や天然ガス、木材、水産物など各種天然資源に恵まれた国であり、350年にわたるオランダの植民地支配、日本による軍政を経て1945年に共和国として独立を遂げた。

インドネシアは環太平洋活火山帯に属し、全国に128の火山があり、そのうち78が活火山である。1883年におこったクラカタウ火山の爆発は、19世紀最大といわれる程のものであった。

インドネシアの地勢は二つの山系によって特徴づけられている。一方は北からフィリピンを経て東インドネシアに、他方はビルマ山系の延長として、スマトラ西岸からジャワ、バリを経て群島の北東部を通り、スラウェシに至るものである。ジャワ島はメラピ火山をはじめ火山が多く、そのうち21が活火山である。

(参考文献)

- 『国際情報大辞典』 1992 学習研究社
- 『東南アジアを知る事典』 1986 平凡社
- 『Indonesia Travel Guide』 1991 インドネシア政府観光局

(2) 気候

赤道多雨地帯に位置し、全体に高温・多湿の熱帯性気候である。

年間を通じて季節の変化はなく、半年ごとに雨季と乾期を繰り返す。乾季(6～9月)にはオーストラリア大陸からの季節風が吹き、雨季(12～3月)にはアジア大陸、太平洋からの季節風が雨をもたらす。なお、マルク地方は他の地域と異なり、6～9月が雨季、12～3月が乾季である。雨季と乾季の移行は緩やかに行われる。

降雨量は極めて多く、年間雨量が2,000ミリを越えるところもみられるが、東部地域では雨量が少ない。平均湿度は高く、年間を通じて75～85%である。日長変化が少ないこともあり、年間の気温の変化は小さい。また、年間平均気温は海岸地帯において27度、内陸部においては25度、山間地帯において22度程度である。

(参考文献)

- 『国際情報大辞典』 1992 学習研究社
- 『インドネシア農業の概要』 1991 国際農林業協力協会
- 『Indonesia Travel Guide』 1991 インドネシア政府観光局

(3) 人口

インドネシアの人口は、1991年現在 181 百万人である（世銀資料、1993）。

総国土面積のわずか約 7% にすぎないジャワ島に全人口の 60.0% が居住しており、人口の過半数は農業従事者という農業国である（AICAF 資料 1993）。

また、主要都市の人口は、首都ジャカルタが約 886 万人、東部ジャワ州都でインドネシア第 2 の都市でもあるスラバヤが約 220 万人、西部ジャワ州都のバンドンが約 156 万人である（共同通信社資料、1993）。

(参考文献)

『世界年鑑』 1993 共同通信社

World Development Report 1993 The World Bank

『国際農林業協力』 Vol.1 15 No.4 1993 国際農林業協力協会

(4) 略史

表 2：インドネシア略年表

年	出来事
7 世紀	仏教王国シュリーヴィジャヤ王国が誕生。
8 世紀	ジャワ島内陸部にヒンズー教国のマタラム王朝が誕生。
14 世紀	ヒンズー教国マジャパヒト王朝がインドネシア全域を支配。
16 世紀	イスラム教国が発展。
1512 年	ポルトガル人がモルッカに到達し、香料貿易を独占。
1602 年	オランダ東インド会社をジャカルタに設立。
1800 年	オランダ政府によるインドネシア直接統治。
1825 年	オランダからの独立運動、ジャワ戦争に発展。
1927 年	スカルノ、インドネシア国民党を創設。
1942 年	日本軍の軍政下に入る。
1945 年	日本の敗戦により、スカルノがインドネシア独立を宣言。
1947 年	オランダ・インドネシア戦争勃発。
1949 年	オランダ、インドネシア連邦の独立を承認。
1950 年	暫定憲法発布。連邦制を廃止し、中央集権的なインドネシア共和国が成立。
1959 年	スカルノ、軍部内左派の支持を得て独裁政治を開始。
1965 年	マレーシアの独立に反対し国連脱退。共産勢力によるクーデター未遂事件でスカルノ政権崩壊へ（9.30 事件）
1966 年	スカルノがスハルトに権限を委譲。
1968 年	スハルト、大統領に就任。反共政治路線をとる。
1976 年	東チモールを併合。
1990 年	中国との国交正常化。
1991 年	11 月、東ティモール、デイリ市にて騒乱事件発生。
1992 年	6 月、総選挙。与党ゴルカルが勝利。
1993 年	3 月、トリ・ストリスノ前国軍司令官が副大統領に就任。 スハルト大統領 6 選。

出所 「インドネシア情勢及び日・「イ」関係」 1993 外務省

『国際情報大辞典』 1992 学習研究社

『東南アジア要覧』 1992 東南アジア調査会

『もっと知りたいインドネシア』 1982 弘文堂

『Indonesia Travel Guide』 1991 インドネシア政府観光局

(5) 民族等

大半がマレイ系からなる民族により構成されている多民族国家でジャワ族、スンダ族など27種族に大別されるが、小民族を含めればその数は数百に達する（東南アジア調査会資料、1992）。

なお、地域別の各民族の人口（いずれも概数）は以下のとおり。

ジャワ島及びその周辺	：ジャワ族 3,700 万人、スンダ族 1,200 万人
スマトラ島及びその周辺	：バタック族 150 万人、アチェ族 100 万人、 ランブン族 100 万人、ミナンカバウ族 300 万人
カリマンタン島	：ダヤク族 100 万人
スラウェシ島及びマルク諸島	：マカッサル族・ブギス族 350 万人、 トラジャ族 100 万人、ミナハサ族 100 万人
小スンダ列島	：バリ族 200 万人、ササック族 70 万人

このほか、主としてオランダ統治時代に流入してきた華僑が各地に存在し、大きな経済力を持っている。

(参考文献)

- 『東南アジア要覧』 1992 東南アジア調査会
- 『東南アジアを知る事典』 1986 平凡社
- 『インドネシア農業の概要』 1991 国際農林業協力協会

(6) 言語

公用語はインドネシア語（Bahasa Indonesia）である。ほかにジャワ、スンダ、ミナンカバウ、バリなど約 250 もの独立した言語があるが、独立に際し、マレイ半島から周辺諸島地域にかけて商業用共通語として広く使用されていた「インドネシア語」を標準語として採用し、普及させた結果、現在では全国的に通用しており、ほかのアジア・アフリカ諸国のような言語抗争は見られない。

(参考文献)

- 『東南アジア要覧』 1992 東南アジア調査会
- 『もっと知りたいインドネシア』 1982 弘文堂
- 『東南アジアを知る事典』 1986 平凡社

(7) 宗教

憲法で信仰の自由は認められている。

1985 年現在の宗教別人口比率はイスラム教が 86.9% と圧倒的多数を占めており、信者数において世界一であるが、一般に中近東と比べると強制力は弱く、戒律も緩やかである。

その他の宗教は、スマトラのトバ・バタック族を中心にプロテスタント信者が、東部インドネシアを中心にカトリック信者がおり、合わせて 9.6% となっている。またバリ及び周辺の島々を中心にヒンズー教が 1.9%、華僑を中心として仏教が 0.6% の信者をそれぞれ持っている（Europa 社資料、1993）。

(参考文献)

- 『もっと知りたいインドネシア』 1982 弘文堂
『東南アジアを知る事典』 1986 平凡社
『インドネシア農業の概要』 1991 国際農林業協力協会
The Europa World Year Book 1993 Europa Publications Limited

(8) 文化

インドネシアの文化は、古くからあるアニミズムと後から入ってきた諸宗教及びポルトガル・オランダからの西欧思想とが混合され、融合されてできた独自のものである。

習慣や伝統の基本理念としては、「和合の精神 (ムシャワラ=Musyawahar)」と「相互扶助 (ゴトン・ロヨン=Gotong Royong)」とがあり、インドネシア人の生活基盤となっている。これらは自治農村の生活様式から発生したもので、現在でも全国的に共同生活の場で生きている。

インドネシアの法制度は、古代オランダの刑法典を基礎としているが、社会生活においては「慣習法 (アダット=Adat)」が絶対的な法律として守られている。また、宗教も強い影響力を持ち、伝統的な風習などの日常生活から人生の通過儀礼や村単位・国単位の行事にいたるまで、インドネシア人の生活の隅々に浸透している。

インドネシアにおける芸術様式は、各時代の宮廷内で宗教儀式に欠かせない重要な要素のひとつとして発達・反映してきたために、非常に多彩で、しかも完成度の高い優れたものとなっている。

ジャワ舞踊やバリ舞踊は、その題材の多くをヒンズー叙事詩のラーマー・ヤナやマハーバー・ラタから採っている。これらの舞踊や「ワヤン・クリット (Wayang Kulit)」と呼ばれる影絵芝居は「ガムラン (Gamelan)」というオーケストラの伴奏で上演される。ガムラン以外にも、北スラウェシの竹製木琴コリントンや西ジャワの竹製打楽器アंकランなどインドネシア各地には、その土地特有の楽器が数多く存在する。

(参考文献)

- 『国際情報大辞典』 1992 学習研究社
『東南アジアを知る事典』 1986 平凡社
『Indonesia Travel Guide』 1991 インドネシア政府観光局

(9) マス・メディア

1) 新聞

新聞は政府系のものからゴシップ紙まで多様である。

日刊紙としては、最有力紙コンパス (Kompas、カトリック系、約52万部)のほか、中立系大衆紙ポス・コタ (Pos Kota、50万部)、スアラ・プンバルアン (Suara Pembaruan、プロテスタント系、26万部) や与党ゴルカル系のスアラ・カルヤ (Suara Karya)、民族主義的なムルデカ (Merdeka) など61紙がある。また、インドネシア・オブザーバー、インドネシア・タイムズ、ジャカルタ・ポストなどの英字紙も発行されている (東南アジ

ア調査会資料、1992)。

1990年夏、政府は国内外の報道関係機関への検閲をゆるめる意向を明らかにしたが、実際の政策には大きな変化は見られなかった。ただし、92年後半、5年間にわたった政府による発行停止命令が違法である旨の訴えが「プリオリタス」紙オーナーを中心とするグループにより起こされた。なお、80年代後半から大都市をベースとするメジャーな新聞社が各地方新聞を系列下に収めていく現象が顕著になってくる。これらのグループはサービス産業などの多角経営にも乗り出しコングロマリットを形成するようになっていく。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1993 Europa Publications Limited
【東南アジア要覧】 1992 東南アジア調査会
【東南アジアを知る事典】 1986 平凡社
【アジア経済】 1994.1 アジア経済研究所

2) 放送

ラジオ放送局としては、国営のRRIがあり、全土の67%、人口の85%をカバーしているが、この他に多数の民営放送局があり、大衆音楽などを中心に活況を呈している。

テレビ局は、最近まで国営1局(TVRI)のみで、国土の35%、人口の65%をカバーしていた。このテレビ局では、国威高揚の観点から要人列席のもとに行われる開発プロジェクトの起工式や完工式の模様を逐一放送している点が特徴的である。1988年11月にジャカルタ及びその周辺をカバーする民営局(RCTI)が開設され、90年8月にはスバラヤ及びその周辺をカバーする民営局(JCTV)が開局した。また、91年1月23日よりインドネシア教育テレビ(TPI)が放映を開始、全土のうち35%、人口65%をカバーしている。また現在国軍が、芸能活動に加え、軍の政治・治安活動などを紹介するテレビ局を開設する計画を進めている(Europa社資料、1993)。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1993 Europa Publications limited
【東南アジア要覧】 1992 東南アジア調査会
【東南アジアを知る事典】 1986 平凡社

表3：経済指標 [インドネシア]

1) 主要経済指標の推移	年	(1989)	(1990)	(1991)
GDP (10億ルピア) (注1)		167,185	196,919	227,163
一人当たりGNP (注2) (ドル)		500	570	610
GDP実質成長率 (注1) (%)		13.1	7.1	6.6
消費者物価上昇率 (注1) (%)		6.4	7.5	9.2
失業率 (%) (注3)		N.A.	N.A.	N.A.
貿易 (百万ドル) (1992年)	貿易収支： 6,021 (注1) 輸出額： 32,502 (注1) 主要相手国：日本 (31.7%) (注4) 輸入額： 26,481 (注1) 主要相手国：日本 (22.0%) (注4)			
経常収支 (百万ドル) (注1)		-1,108	-2,988	-4,080
対外債務残高 (注2) (百万ドル)		53,111	67,908	73,629
債務返済比率 (%) (注2)		35.2	30.9	32.7
外貨準備高 (注2) (百万ドル)		6,444	8,657	10,358
2) 通貨 (1993年10月末) (注5)	通貨単位：ルピア 1ドル = 2,105 ルピア			
3) 会計年度	4月1日～3月31日			

出所 (注1) International Financial Statistics Yearbook 1993 IMF
(注2) World Development Report 1991-1993 The World Bank
(注3) Year Book of Labour Statistics 1992 ILO
(注4) Country Report : Indonesia No.1 1993 EIU
(注5) 東京銀行調べ

II 生活事情

1. 食生活

1-1 食料

(1) 一般事情

食料品は一般的によく出回っており、規制されるようなことはない。食品衛生も魚介類、乳製品（牛乳、アイスクリーム）などに気をつければ、ほかはおおむね良好である。

(2) 主な食料の出回り状況

米、パン、肉類、野菜、乳製品、果物、魚類、調味料、食用油、酒類、飲料水はよく出回っている。

(3) 食料の入手

日本食料品の入手は、みそ、しょうゆ、日本そば、うどん、のり、味の素、梅干し、納豆、インスタントラーメン、各種の調味料、日本酒などほとんどのものが入手できる。また、輸入品の各種食料品、果物なども市内の多くのスーパーで入手可能である。

野菜、魚介類などの生鮮食料品はパサールのものが新鮮である。

以下にパサールの紹介をする。

パサールカンボンクリン—日本人が食べるものは、ひとつおとり揃う。野菜、牛肉、豚肉、鳥肉、米、果物、魚介類、干物、ラーメン、ワンタン、手芸用品等

パサールプティサー—広くて買いにくい。日本人が食べる野菜は揃わない。その他はなんでもある。

パサールラメイ—果物、花、装飾品（金）、中国料理用乾物、手芸材料。果物屋プラスチックがある。

パサールグルゲール—14:30頃からである。魚介類のパサールで、タイ、アジ、マナガツオ、舌ビラメ、白ギス、タチ、イトヨリ、シマアジ、カマス、サヨリ、赤貝、ムール貝などがある。野菜も近頃はほうれんそう、春菊をみかける。牛肉、鳥肉もあるが、豚肉はない。

パサールシテイ—野菜（しいたけ、ほうれんそう）、豆腐、牛肉、鳥肉、豚肉、魚も新しい。

なお、ショッピングセンターには、デリプラザ、タムリンプラザ、メダンプラザ、シナールプラザ（YUKI）、プリサイプラザなどがあり、各プラザ内には日用雑貨の揃うスーパーがある。

食品別入手先は、以下のとおりである。

・日本食一般

Mr. Ben Jl. Huara Lakus 48 TEL 514116、514105

そうめん、そば、うどん、きしめん、調味料（しょうゆ、みりん、酢）、菓子類など多量。電話注文で配達してくれる

・日本野菜

パサールカンボンクリン（入口近く豆腐屋をはさんで2店。その他の店にもあ

り)

大根、きゅうり、ほうれんそう、ピーマン、レンコン、オクラなど。毎日はないものがあるが、頼むととっておいてくれる

・日本の菓子

Mr. Ben、Toko Bintang Ierang、各パサール内、スーパー

・米 (K. K. B. は匂いが少ない)

Mr. Ben、Toko Bintang Ierang、各パサール、各スーパー

・肉類

Mr. Ben、Toko Bintang Ierang、パサールカンボンクリン、パサールプティサ、パサールシティ

アメリカ、ニュー・ジーランド産輸入肉や当地産肉あり。頼むとスライスしてくれる。各パサールには豚肉、鳥肉、牛肉あり。

・魚介類

パサールグルグール (夕方パサール、14:30~)、パサールカンボンクリン、パサールシティ

・乳製品

Mr. Ben サワークリーム、チーズ、輸入マーガリンなど
Toko Bintang Ierang

・牛乳

インド人が配達

・ケーキ、パン

Royal Holland Jl. Iaruma 62 TEL 324670

アイスクリームあり。2階はアイスクリームパーラー

Tahiti Jl. Iaruma 70 TEL 324817、519692

アイスクリームあり。軽食もあり、持ち帰り可能

Sumatra Jaya Jl. H. Z. Arifin 151 TEL 322938、28151

ドーナツがおいしい。14:00以降

Suan's Bakery Jl. Iaruma 98 TEL 518640、511288

アイスクリームあり

Papa & Mama Jl. Kirana 48-52

Westin Jl. H. Z. Arifin 164 TEL 327087

・アイスクリーム

Tip.Top Jl. Jend. A. Yani 92AB

Swensen's Jl. Gajah Mada (ケンタッキ-フライドチキン内)

Wisma Jl. Kapt. Maulana

Benteng Restarant Lubis 6

・コーヒー

Naga Sanghie Jl. Rahmadsyah 61 TEL 29061

アラビカ、ロブスタ、マルキサジュースもあり。

Pulau Mas Jl. Thamrin Baru 10、パサールラメイ内

各パサール

・ワンタン皮・生麺

パサールカンボンクリンなどの各パサールにあり

・肉まん・あんまん

Jl. Bogor 39にある店 昼すぎ

Jl. Seelat Panjang 24にある店 15:00~17:00

・ハスあん入りまんじゅう

Jl. Selat Panjang 20にある店

・ギョウザ・シュウマイ

Jl. Bogor 39、Jl. Selat Panjangにある店

・香辛料

Mr. Ben 日本製香辛料あり

Toko Bintang Ierang 日本製香辛料あり

各パサール インド人の出店あり。当地産香辛料。料理名(例えばカレーのルー)をいうと調合してくれる

・洋酒

Mr. Ben、Toko Bintang Ierang

洋酒はこの2店であれば比較的信用できる

なお、米ぬかはパラパットへ行く途中の道路沿いで手に入る。

1-2 食器・調理器具など

(1) 食器・調理器具などの入手

冷蔵庫からつまようじに至るまで当地製品に加え、日本製のものが手に入る。各種の調理器具は輸入品を含めてほとんど入手可能である。電圧は220ボルト、50サイクルである。

(2) 日本から持参した方がよい食器・調理器具など

和食器、和包丁はないので持参した方がよい。

1-3 外食

(1) 飲食店

主なレストランは以下の通りである。

*中華料理

ポロニアホテル 1F Jl. Sudirman 14 TEL 325300、324700

備考：スペアリブあり

Nelayan Restaurant Jl. Kumango 1-A TEL 515040、514852

備考：子豚の丸焼きあり。飲茶もおいしい。個室あり

Delima Restaurant Jl. Hindu 8 TEL 514422

備考：安い。中国人がよく利用する。スペアリブあり

Mikado Restaurant Jl. Palangkaraya 1-ABC

備考：客家料理

Tropicana Jl. Kol. Sugiono 16 TEL 324973

備考：個室あり

* 海鮮料理

Jumbo Restaurant Jl. Putri Hijau No. 8ABCD TEL 525653、525760

備考：デリプラザの向かい側

Wisma Benteng Restaurant Jl. Kapt Maulana Lubis 6 TEL 518426、323727

Oriental Restaurant ダナウトバホテル内

備考：個室あり

Sheraton Palace Jl. Orion 101-103

備考：観光客専門

Marina ベラワン

備考：ベラワン港の近く

* インドネシア料理

Garuda Jl. Gajah Mada 8 TEL 520706

備考：ここ以外にも数店あり

Columbia Jl. Putri Hijau 8JK TEL 526374

Kalasan Jl. Iskandar Huda No. 294 TEL 521622

備考：ジャワ料理アヤムゴレン

Jenar Jl. S. Parman 307 TEL 526300

Miramar Restaurant Jl. Pemuda 11A-C TEL 512197、325491

Waringin Jl. Mayang No. 2 TEL 528732

備考：魚、エビなどの炭火焼き

Inti Sari Kuring Jl. Airlangga 8-12 TEL 321679、327064

備考：スンダ料理。オープンエアレストラン

Riung Lembur Jl. S. Parman 25286 TEL 29242

備考：ジャワ・スンダ料理

Restu Ibu ダナウトバホテルの近く TEL 516994、518666

備考：マンデリン料理

* 日本料理

Yokohama タムリンプラザ7F

Iroha Jl. Gajah Mada 11 TEL 524664

Osaka ダナウトバホテル

備考：刺し身、シャブシャブ、スキヤキ、めん類などひとつおりのものあり

* 西洋料理

Ambarita ティアラホテル TEL 516000 2F (プールサイド)

備考：ステーキ、スモークサーモン

Kutaraja ティアラホテル 1F

備考：ピザ、ハイナンチキンライス

Coffee Shop Sumatra Jaya Jl. H. Z. Arifin 151 TEL 28151、322938

備考：2F スパゲティ、ステーキ

Iavern ダナウトバホテル内

備考：石焼きステーキ。夜10時以降ミュージックラウンジになる

パルデアホテル内のレストラン パルデアホテル

備考：スパゲティは食べられる

Intan Coffee Shop ポロニアホテル 1F

備考：ガーリックステーキ、オニオンスープ、スパゲティ

*その他

Iip Iop Jl. Jend. A. Yani 92AB TEL 25426

備考：中華、洋食、アイスクリーム

フォンティン デリプラザ 3F、シナールプラザ 3F

備考：サイフォンコーヒーを出す。ナシゴレンもおいしい

Apollo Fast Food デリプラザ 2F

備考：ラーメン

Batik Cafe Jl. Pemuda 14C

Pizza Hut Jl. Let. Suprpto 13 TEL 519956、519067

備考：ピザ、スパゲティ宅配もあり

Texas Fried Chicken タムリンプラザ、シナールプラザ 1F

Kentucky Fried Chicken

Jl. Gajah Mada 14 TEL 523589 (本屋グラメディアの近く)

メダンプラザ、デリプラザ

Ihamira Ierrace タムリンプラザ 7F

備考：スチームボート、焼き肉

Mie Bakso Jl. Iebong 20

ラクサの店 Jl. Iebong 50-108

シーフードラーメン Jl. Bangka 82、88

備考：午前中のみ、約4,000ルピア

中華そば Jl. Gandhi 153

Ati Jl. Mojopahit 111、J

備考：ピカアンボン（菓子）

(2) その他の飲食店

該当情報なし。

2. 衣 料

2-1 衣 料

(1) 一般事情

常夏の国であり、最高気温32～33℃から最低20～21℃であり、湿度もかなりある。日本の夏を想定して、準備すればよい。

(2) 日本から持参した方がよい衣料

ほとんどのものが手に入る。勤務時の服装は半袖のワイシャツ（ネクタイなし）で、背広は夏用1着、ネクタイは2～3本あれば足りる。和服は特に必要ないが、浴衣1枚ぐらい持参してもよい。また、高地の避暑地に行く場合、セーター、カーディガンなどが必要となる。

(3) 任国で調達した方がよい衣料

バティック服、サファリスーツなどがある。サファリスーツは、仕立てで15万～25万ルピアである。（1991年1月）

(4) その他の留意点

該当情報なし。

2-2 礼 装

(1) パーティ

男性は背広でもよいが、当地のバティックシャツ（長袖）が一般的である。女性はワンピース（またはロングドレス）でよい。

(2) 式 典

背広またはサファリスーツ、女性はワンピース（またはツーピース）である。礼服を持参する必要はない。

(3) その他の冠婚葬祭

同上。

(4) その他の留意点

インドネシア産の衣料の質はよくなり、日本で購入するのとほとんど差がなく、価格が安い。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗 濯

クリーニング店もあり、アイロン、電気洗濯機など持参する必要はない。

(2) 仕立て、修繕

技術は劣るが、仕立て、修繕の店を利用できる。仕立代は、スカート（裏付き）が2万ルピア、男性用ズボンが2万ルピア程度である。（1992年7月）

洋裁学校は、以下のところがある。

Modo Dress Making School Jl. Kirana

Monalisa Jl. Taruma 56-A

(3) 保 管

湿度が高いため、風通しをよくし、保管には気をつける。

3. 住 宅

3-1 住宅事情

(1) 一般事情

当地ではアパートは、ダナウトバホテルが経営するアパートがひとつあるが、一般的には一軒家かまたはフラットと称する長屋である。外国人の多くが居住しているポロニア地区（高級住宅街）においては、一般に治安がよいため借家の需要が多く、供給が限られてくるが、近年外国企業の撤退もあり借家の事情はそれほど厳しくはない。家賃は1ヵ月1,000～2,000ドルで契約は1～3年の長期契約となり、家賃は一括前払いである。短期専門家は1年以内の契約もできるが、家賃が割高となる。

下宿、またはホテルの長期滞在の方法もある。

(2) ホテル事情

主なホテルは以下のとおりである。

* Tiara Hotel

電話 516000 住所 Jl. Cut Metia
料金：シングル 90.00ドル ダブル 95.00ドル
一般的に20～30%のディスカウントあり

* Danau Toba Hotel

電話 557000 住所 Jl. Iman Bonyil 17
料金：シングル 70.00ドル ダブル 70.00ドル

* Polonia Hotel

電話 325300 住所 Jl. Jend. Sudirman
料金：シングル 70.00ドル ダブル 70.00ドル（長期可）

* Pardede Hotel

電話 323866 住所 Jl. Juanda 14
料金：シングル 40.00ドル ダブル 40.00ドル（長期可）

ほかにも、Pardede Hotel 並みのホテルが多くある。

(3) 住宅の探し方

赴任直後はとりあえずホテルに落ち着き、周旋人または知人の紹介により複数の物件のなかから選択する。新聞広告はやっていない。

(4) 住宅の選定上の留意点

周辺の治安状況、インフラ施設、家屋の傷み具合、防犯上の問題点、冷房や給湯設備の有無、家具の傷み具合、電気容量、電話の有無、水道の流出具合、使用人部屋の位置も選択の条件となる。

(5) 住宅の契約

家賃は家具付きで一軒家は1ヵ月1,500～2,000ドル、長屋形式フラットは1ヵ月1,200～1,500ドルで、専門家の任期に従って1～2年の契約を結び、家賃は一括前払いする。

(6) 電気、ガス、水道などの手続と管理

当国では、電気の配線、水道、電話などがよく故障し、また雨漏りなどが多くメ

メンテナンスが重要な意味を持つ。契約上は家主の責任となっても、なかなか実行してくれない。このトラブルを避けるため、専門家は家主と直接ではなく、代理店を通して修理依頼をし、代理店が責任を持つ。現在までこのシステムはうまく機能している。

(7) その他

合鍵屋がある。

Karis Jl. A. Yani IV-7

この店以外にも多数ある。

電球、蛍光灯は、カンボンクリンの電気店や各スーパー内にある。

4. 医 療

4-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

入国の際、義務づけられたものはないが、コレラ、肝炎、破傷風、狂犬病などの接種は受けた方がよい。乳幼児、妊婦などの接種については医師に相談すること。必要に応じ、シンガポール（飛行機で約1時間）で接種を受けることも可能である。

(2) その他の準備

歯科治療、常備薬などは準備した方がよい。

4-2 医療事情

(1) 医療機関

・総合病院

R. S. St. Elizabeth

住所 Jl. Haji Misbah 7 TEL 28655

入院は可能である。

R. S. Herna

住所 Jl. Mojopahit TEL 20697

入院は可能である。

・開業医

Dr. Yus Suar (内科、小児科)

住所 Jl. Serdang 28A TEL 519973

Dr. Jaya Salim (内科、外科)

住所 Jl. Gandra 67 TEL 28465

Dr. Radjab (歯科)

住所 Jl. Let. Jend. Suprpto 2-1 TEL 513164

Dr. Mohd Dien (眼科)

住所 Jl. Sutrisno 48B

(2) 緊急時の対応と措置

救急車はあてにできないので、自家用車を使用する。

4-3 医薬品など

(1) 携行することが望ましい医薬品

ひととおりの家庭常備薬と応急手当て用具、また持病を持つ人はその薬を持参すること。そのほかに、クレオソート類、かぜ薬、解熱剤、下痢止め、消化薬、抗生物質、目薬、かゆみ止め軟膏、水枕、アイスノンなどがある。

(2) 任国で調達できる医薬品

たいていのものが市販されているが、商標名に精通していないと購入できないので、上記のものを持参した方がよい。

(3) 任国で調達できる衛生用品

生理用品は日本製のものが市販されている。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

医薬分業である。市販の薬には古いものもあるので注意を要する。

4.4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

エリザベス病院で出産した例があり、入院出産は可能である。

(2) 出産後の対応

母子検診および予防接種は、希望すればそれらの病院を紹介してくれる。

(3) 育児

育児用品はたいていのものは手に入る。

4.5 手術

(1) 任国で可能な手術

メダン市内には100ベッド以上の総合病院が数カ所あるが、虫垂炎の手術ぐらいが限度である。検査部門を持つ病院は、国立北スマトラ大学付属病院のみである。ただし、高度の検査は期待できない。重症の病気にかかった場合は、シンガポールあるいは日本へ移送する。

(2) 手術設備の状況

メダンから東南へ100キロメートルのクアラタンジュンのイナルムニュータウン内にあるイナルム病院（日本・インドネシア合弁のインドネシアアサハンアルミニウム会社が経営）は設備が整っている。

(3) その他の留意点

該当情報なし。

4.6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

かぜ、下痢などがある。

(2) 風土病・伝染病

消化器伝染病にかかることはほとんどないが、A型肝炎に罹患する例がある。破傷風、狂犬病は罹患の危険が大きい。マラリアはメダン市内では危険はない。

(3) 有害動物、病害虫

蚊、ハエ、ダニなどがいるが、清潔を心がけていれば特に心配はない。

4.7 保健衛生

(1) 飲料水

生水の飲用は不可、水道水を沸かして飲用とするほか、多くは瓶詰のミネラルウォーター（ブランド名 Izumi、1992年7月現在、1リットル1,000ルピア程度）を常用する。

(2) 濾過器の入手法

該当情報なし。

(3) その他の留意点

該当情報なし。

5. 教 育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

日本と同様6、3、3、4制で、小学6年、中学3年が義務教育となっているが、教室、教師が不足しており、2部授業の学校が多い。

(2) 日本人学校

メダンには日本人学校があり、小学部、中学部がある。現在6人の教師が日本から派遣されている。

Medan Japanese International School

Jl. Sei Asahan 50 TEL 527549 FAX 527549

(3) 現地校、外国人学校

インターナショナルスクール（幼稚部、小学部、中学部併設）がある。

所在地 Jl. Brastagi Km 10 電話 27099

(4) 幼稚園

インターナショナルスクールの幼稚部、または私立の当地幼稚園がある。

5-2 入学手続および授業料

(1) 日本人学校

入学金は1人200ドル、授業料は1ヵ月1人150ドル、(1994年度)、学期は日本と同じである。

(2) 現地校、外国人学校

インターナショナルスクールの授業料は、1人1ヵ月、幼稚部が500ドル、小学部は800ドル、中学部は1,000ドルである。

(3) 幼稚園

該当情報なし。

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

日本人子弟の利用できる図書館は日本人学校にある。

(2) スポーツ施設

スポーツ施設などはない。ホテルのプール、その他一般のテニスコートがある。

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

インドネシア語、またはピアノの家庭教師はいる。

(2) 通信教育

通信教育は特に利用されていない。

(3) 携行した方がよい家庭用学習教材

問題集、参考書、辞書、事典、絵の具一式、漢字ノートなどはできるだけ多く持参した方がよい。

画用紙、厚紙などさまざまな紙は、以下のところで手に入る。

Toko Bikit Jaya Jl. Sutomo 29A TEL 528165

C. V. Subur Jaya Jl. Perniagaan 72E

6. 家庭の使用人

6-1 運転手

(1) 雇用

知人の紹介などにより面接し、通常1～3ヵ月間の試用期間をおく。給料はおよそ1ヵ月10万～20万ルピアである。契約書の作成は必要ないが、勤務時間、給料、休日、残業手当、ボーナス、退職金などを記載した覚書程度のものを取りかわしておく。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

当地北スマトラのバタック族は気性が激しいといわれており、運転は慎重にするよう採用時に話をし、かつ常に注意する必要がある。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

6-2 メイド/サーバント

(1) 仕事の種類と人数

該当情報なし。

(2) 雇用

料理人は通常住込みで、給料は1ヵ月5万～10万ルピア、掃除、洗濯の方は通いもあり、1ヵ月4万～5万ルピアが相場である。試用期間は通常1～3ヵ月間である。覚書程度のものを、運転手と同様各事項について取りかわしておく。

(3) 日常管理

衛生観念があまりないので、料理の前には薬用石けんで手を洗う習慣をつけさせるなど、常に清潔を心がけるよう注意する。

6-3 庭師、ガードマンなどの雇用

(1) 雇用

庭師は月に2～3回の通いで、1ヵ月1万～2万ルピアで雇用できる。また、居住地域によってはガードマン（夜警）を雇う必要があり、給料は1ヵ月7万～8万ルピアである。

7. 交通事情

7-1 交通手段

(1) 一般事情

市内には流しのタクシーがあり、簡単に利用できる。ホテルなどにあるハイヤーも利用できるが、時間制でタクシーに比べ高くつく。鉄道、長距離バスはあるが邦人は利用していない。国内航空はよく発達していて、メダン～ジャカルタ間1日4往復のほか、主要都市へ連絡している。また、国際線はシンガポール、クアラルンプール、ヨーロッパなどの便がある。

(2) 自家用車を利用する場合

在住の日本人の日常の足は、運転手を雇用しての自家用車である。運転は運転手に任せた方がよい。事故の場合、インドネシア人の運転による場合と、邦人による場合では補償の額が大きく違ってくる。

(3) レンタカーなどを利用する場合

交通事情などから考えて、自分で運転するレンタカーはあまりすすめられない。

(4) 道路地図

道路地図などの正確な地図はないが、書店でいちおう手に入る。

7-2 交通事故

(1) 対処方法

運転は運転手に任せた方がよく、自分ではなるべく運転しないことである。事故が起きた場合は、物損のみの時は示談にし、人身事故の場合はとりあえず総領事館から警察に連絡をとってもらう。

なお、保険会社は当地にもあるので、車の保険には車両購入時に必ず加入しておくことである。

(2) 救急病院

エリザベス病院、またはヘルナ病院がある。

(3) 盗難

該当情報なし。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車は左側通行である。メダン市内は最近、車が非常に増えた。また、ベチャやオートバイなどの乱暴な運転に気をつけること。一方通行がほとんどなので、慣れるまでは運転しない方がよい。

(2) 対処方法

該当情報なし。

7-4 車の修理

(1) 部品

トヨタ、ホンダ、三菱の車両については代理店もあり、パーツは手に入る。

(2) 修理工場

修理技術は低いですが、たいていの修理は可能である。

8. 通 信

8-1 電 話

(1) 一般事情

一般のインドネシア人家庭にもかなり普及している。一般に外国人の借りる家には電話がある。また、必要に応じてファックスを取り付けることは簡単である。携帯電話の利用も可能である。新規に申し込むと1年以上かかる。

(2) 国内電話

ジャカルタへの通話は自宅からダイヤル、または電話局で申し込む。3分間で約7,000ルピアである。(1992年7月)

(3) 国際電話

自宅からダイヤルまたは、交換手を通じるか、国際電話局で申し込む。ほとんど即時に通話できる。料金は番号通話で東京の場合、3分間1万8,000ルピアである。

8-2 電 信

(1) テレックス

テレックス、ファクシミリは、中央電報局または市内各所にあるWARTELでローマ字で利用できる。受付時間は、平日は8:00～21:00、日曜日、祭日は午前中である。テレックス、ファクシミリの料金は、A4で1ページ約3万ルピアである。

(2) ファクシミリ

同上。簡単に取り付けができる。

(3) 電 報

電報料金は1字450ルピアである。

8-3 郵 便

(1) 一般事情

一般の小包は配達してくれるが、かさばるもの、重いものは呼出し状がきて受け取りに行き、開封されることがある。印刷物のうち、共産主義関係、ポルノ的なのは禁じられている。

日本からは3週間～1ヵ月かかる場合があるので、食料品の郵送は避けた方がよい。

市内にはOCS、スカイパック、DHLなど宅急便を扱う店がある。値段は高い(日本へ500グラム以内の書類で約4万ルピア)が、より早く(日本へは2～3日)、より確実に着くので、よく利用されている。

OCSメダン支店

Jl. Sekip Baru 25 TEL 525846

(2) 課 税

電気製品、カメラ、時計などが課税の対象となる。

9. マスコミ

9-1 新聞

(1) 主な日刊紙

メダンで発行されているインドネシア語の新聞が6紙ほどあり、購読料は月1万2,000ルピアである。ジャカルタで発行されている英字紙も3紙あり、月1万5,000ルピアである。

(2) 本邦日刊紙

本邦の日刊紙は1日遅れの配達で、月20万~30万ルピア、OCSで取り扱っている。また、本の配達もし、集金にもきてくれる。

(3) 欧米紙

「Time」など、欧米の雑誌は書店で売っている。

9-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

国営放送局のほか、民間放送局もある。

(2) ラジオジャパン

該当情報なし。

(3) 任国で聴取可能なその他の外国放送

日本も含め、海外からの短波放送が受信できる。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

国営(TVRI)、民営テレビのほか、BBC、CNNを含めて多くの海外の放送を受信できる。

(2) テレビ受信

海外放送受信のためには、パラボラアンテナが必要である。家を借りる際にすでに取り付けられているケースが多い。

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

(1) 映画館

映画は、インドネシア映画のほかに、アメリカ、インド、香港映画も上映される。市内には多くの映画館があるが、日本人が利用するのは、ゴールデン、マジエステイク、プレジデントなど2～3館に限られる。

映画広告は新聞に掲載されている。上映期間が短いので、よい映画は早めに鑑賞する必要がある。

(2) 劇場

劇場はない。

10-2 出版・書籍

(1) 一般事情

市内に2～3の書店があるが、ほとんどインドネシア語の書籍で、若干英語のものもある。日本の書籍は、ジャカルタあるいはシンガポールに行った際、購入するか、OCSまたは海外ブックサービスなどによりとり寄せる。

コピー店は、以下のところにある。

Surya Jl. Raden Saleh 19

製本がうまい。値段がやや高い。

Pieter Jl. Cik Ditiro 14

製本がうまい。

Elite Jl. Raden Saleh 15-17

値段がやや安い。

Solo Foto Studio Jl. H. Z. Arifin 156 TEL 327319

パスポート用写真撮影可。フィルムの現像・焼増も可

(2) 書店

Toko Buku Deli Jl. A. Yani

北スマトラの地図がある

Gramedia Jl. Gajah Mada 23

メダンプラザ 1Fの店

日本語のスタイルブックがある

10-3 語学学習

(1) 語学学習施設

インドネシア語を外国人に教える学校はない。

(2) 家庭教師

日本人がインドネシア語を勉強する場合は、個人またはグループで家庭教師を雇っている。授業料は週2回（1回1時間半くらい）で月5万～10万ルピアである。

10-4 文化活動、文化施設

(1) 一般事情

展覧会などの催し物はほとんどなく、博物館、動物園はあるが、貧弱である。美

術館、市民ホールなどはない。

- (2) 日本・任国友好協会などの有無と活動の内容
該当情報なし。

- (3) その他の文化活動、文化施設

インドネシア民族舞踊学校がある。練習風景が見られる。(月・木曜日 16:00、火曜日 15:00 頃)

TAMAN BUDAYA Jl. Perintis Kemerdekaan 29

バレエ、社交ダンスには、ウランバレエスクール (Jl. S. Parman) がある。イギリスのロイヤルバレエ系列で、基本練習が中心である。

10-5 写真、ビデオ

- (1) 写真

フジ、サクラ、コダックなどのフィルムがあり、DPEサービスもある。カメラ用パーツも販売されている。

- (2) ビデオセット

ビデオセットも当地で販売されており、VHS、ベータのいずれもある。価格は60万～200万ルピアである。日本のテレビセット(アメリカ方式)および録画済みビデオテープは、当地のもの(ヨーロッパ方式)と方式が違うので使用できない。

- (3) ミュージックテープ

豊富にあり、値段は1本5,000～1万5,000ルピアである。

CDは2万～3万ルピアである。

以下の店にはクラシックのテープが揃っている。各プラザ内にもある。

ERA Music Cassette Center Jl. Bandung 42 TEL 322787

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

- (1) 音楽会、コンサート

該当情報なし。

- (2) コーラス、演奏グループ

コーラスはニョニヤ(Nyonya)会(邦人夫人の親睦会)の有志で行なっている。

- (3) ピアノなど

音楽教室がある。

Medan Musik

Jl. A. Yani 104-A TEL 515695、510504

Deli Plaza 3F (支店) TEL 326502

ピアノ、オルガン、ギターなど習うことができる。

フィフイ先生

Jl. Mojopahit TEL 53322

1回につき30分、日本語がわかる。

バイオリンは、ヤビ先生がいる。

- (4) レコード

レコードはカセットテープの普及に押され、市販されていない。

(5) 民族楽器
該当情報なし。

(6) その他の楽器
該当情報なし。

10-7 手芸、絵画、美術工芸

(1) 手 芸
バティック染の教室がある。

Mr. Azis Jl. Sutrisino TEL 711392

手芸用品は、Setia Baru (Jl. Perniagaan 72) があり、フェルト、毛糸などをおいている。パサール・カンボンクリン、パサール・ラメイにも個人営業店がある。

化繊綿は、P. T. Majupillo (Jl. Mesjid 123) にある。

Narain (Jl. Cik Ditiro) には、各種リボンがおいてある。インド人の店で、布・アクセサリーもある。

(2) 絵画、美術工芸
該当情報なし。

10-8 趣 味

(1) 園 芸
該当情報なし。

(2) 釣 り
海釣りの同好会が日本人会の有志の間にある。簡単な釣り道具は、スポーツ用品店で販売されている。

10-9 娯楽、遊戯など

(1) 娯楽、遊戯、ゲーム
ビリヤード、チェスなどが盛んで、道具も手に入る。

ビリヤードは、ダナウトバホテルでできる。マージャンの道具は入手できないので、愛好家は持参する必要がある。ただし、インドネシアでは賭事はすべて法律違反となるので、十分に心得ておく必要がある。

カラオケバー、ナイトクラブ、ディスコなど数多くある。

遊園地は、メダンフェア (Jl. Gatot Subrot)、タマンリア (Jl. Gatot Subrot)、デリープラザ4F、タムリンプラザ、メダンプラザにある。

(2) 芸能興行
該当情報なし。

10-10 スポーツ

(1) ゴルフ
ゴルフ場には、以下のものがある。

・デリーゴルフクラブ	所在地	トゥントウンガン	18ホール
・タモラゴルフクラブ	所在地	タンジュンムラワ	9ホール
・ポロニアゴルフクラブ	所在地	飛行場近く	9ホール
・プルクンプランゴルフクラブ	所在地	P. T. Perkebunan II	9ホール
・パミトランゴルフクラブ	所在地	P. T. Perkebunan V	18ホール

ゴルフ練習場には、以下のものがある。

- ・デリーゴルフ系 所在地 P. L. Polonia 日中は練習不可。
- ・ポロニア 所在地 空港の近く 何時でもできる。

日本人のよく利用するトゥントゥンガンのゴルフコースは入会金60万ルピア、月会費7万5000ルピアであるが、ビジターも利用できる。

(2) テニス

ダナウトバホテル、ティアラホテル、総領事館所有のテニスコート（総領事館に問い合わせること）などである。その他多数のコートがある。

日本人の同好会があり、練習、月例大会などを行なっている。週に1～2回、楽しんでいる。

(3) 水 泳

ホテルのプールで常時できる。

プールは、ティアラホテル、ダナウトバホテル、タムリンプラザにある。当地の海浜での海水浴はすすめられない。

(4) その他のスポーツ、用具、ウエア

スポーツ用品は品数は多くないが、スポーツ用品店で入手できる。

Jl. A. Yani にスポーツ店が集まっている。

ATAL Sports Jl. A. Yani 20-22

ATAL Sports Jl. A. Yani 46

HARI BROS Jl. A. Yani 89 タムリン・プラザ1階にもある。

そのほか各プラザ内にもある。

ボウリング場は、ムラティがある。Jl. Gatot Subrot にあるメダン唯一のボウリング場である。

ハッシュ (Hash) の場所についての情報は、Mr. Ben にて入手可能である。田舎の風景をみながら走る。

(5) スポーツクラブなど

会員制のメダンクラブがあり、テニス、バドミントン、スカッシュ、ビリヤードなどの施設を持っている。また、主なホテルにはフィットネスセンターがあり、有料で利用できる。

クラークハッチフィットネスセンター(ティアラホテル内)、ダナウトバホテルのフィットネスセンターは、エアロビクス、サウナ、マッサージ、テニスコート、プールがある。会員制である。ただし、必ずしも年間会員になる必要はない。月間会員もあり、1回ごとに支払うこともできる。

そのほかマイヤー、シルビア体操教室もある。

シルビア体操教室 Taman Setiabudi Indah GG 34

月・火曜日 8:30～、木・金曜日 9:30～、毎夕方 18:00～19:00

10-11 子供の遊び

主にホテルのプールでの水泳、水浴び、高学年になるとテニスなどがある。幼児が公園などの戸外で遊ぶことは、安全上からもすすめられない。

おもちゃ屋には、次のものがある。

Asoka Jl. H. Z. Arifin 107 TEL 510806
そのほか各プラザ内にもある。

11. その他のサービス

11-1 金融機関

該当情報なし。

11-2 コンピュータ

該当情報なし。

11-3 美容院

外国人のよく利用する美容院が3～4店ある。料金はカット1万5,000ルピア、シャンプー1万ルピア、パーマメント2万5,000～6万ルピアである。

理髪店は数軒ある。カットのみの7,500ルピアから、ひげ剃り、洗髪の2万ルピアぐらいまでである。

Jl. A. Yaniには土産物店が並んでいる。コンタンの木彫り、パティックの絵、テーブルクロス、ピューターなどがある。

12. 観 光

12-1 地方旅行上の留意点

私的な旅行には特に制約はないが、業務上の出張には所属機関の許可(出張承認書)を必要とする。

12-2 主要観光地・保養地ガイド

メダン市内と郊外の見どころは、以下のとおりである。

- ・王宮(イスタナマイムン)――Jl. Brig Jend. Katamsoにある。いつでも入場可能、無料である。ただし、ガイドに謝礼を払う。
- ・グレートモスク(ムスジットラヤ)――Jl. Sisingamangarajaにある。いつでも入場可能だが、お祈りの時間は避ける。内部のステンドグラスがきれい。入場の際、寄付金を支払う。
- ・動物園(クブンピナタン)――Jl. Brig Jend. Katamsoにある。車で15分ぐらいのところにある。
- ・ワニ園(クブンブアヤ)――アサムクンバンにある。100匹以上のワニを育てている。餌づけの時間(16:00頃)に行くと生きた鶏を食べようすを見ることができる。(餌づけの時間以外にもお金を払えば見せてくれる)
- ・ブキットバリサン博物館――Jl. H. Z. Arifinにある。武器のコレクションがある。いろいろな戦争の展示が見られる。
- ・北スマトラ博物館――Jl. H. M. Joniにある。整備中で十分に整っているとはいえない。スマトラ島の地形、民族分布などおもしろいコーナーもある。
- ・シビルビルの温泉――車で1時間程度である。自然の温泉が湧き出ている。
- ・森林公園――シボラギットにある。ブラスタギに向かう途中にある。ジャングルを少し切り開いた程度のものである。各木に名がつけてある。象もいる。(ヒル、蚊に注意する。運動靴を履き、虫除けスプレーをして入るのがよい)
- ・オランウータン――ボホロクで見られる。メダンよりアチェ方向に車で約3時間。オランウータンの餌づけが見られる。入場には許可証が必要で、メダン事務所または、現地にて入手可能である。パスポート(コピーにて可) および入場料が必要である。餌づけ時間は9:00と15:00の2回である。
- ・パンタイチェルミン海岸――生きた化石といわれるカプトガニがいる。とりたてのカニを買い、料理してもらうことができる。マラッカ海峡が見られる。休憩小屋はあるが(有料)、トイレはないに等しい。
- ・トバ湖周辺――メダンからトバ湖観光の中心地プラバット(トバ湖東岸)まで車で4時間、外国人の利用するホテルが4~5軒あり、料金はダブルで5万~7万ルピアである。(1992年7月) 見どころとして、サモシール島、シグラクヤの滝、トンギンの滝、バタック族の伝統的な家屋などがある。
- ・ブラスタギ――メダンから車で1時間半の高原の町で、避暑地である。花と蔬菜の産地で、ホテル、バンガローなどが多い。

そのほか観光地としては、スマトラ島西岸インド洋上にあるニアス島、西スマトラ州の州都パダン、マラッカ海峡にあるマレイシア領のペナン島などがある。

土産物店には、以下のものがある。

Toko Bali Jl. A. Yani 68

Toko ABC Jl. A. Yani

Toko Selatan Jl. A. Yani 44

Toko Seni Jl. A. Yani VI/2

Pelangi Jl. Mahkamah 5-3

Toko Bintang Belawan 港の近く

なお、メダンのガイドブック (英語版) 「Living in Sumatra」が Mr. Ben においてある。

12-3 旅行

(1) 自動車

旅行の際、200～300 キロメートルの場合は自家用車またはハイヤーである。

(2) バス

鉄道、長距離バスもあるが、日本人は一般に利用しない。

(3) 鉄道

同上。

(4) 航空機

遠距離の場合は航空機である。

12-4 旅行代理店

航空券、ホテルなどは自分で直接手配してもよいし、旅行代理店に依頼することもできる。知人の紹介などにより信頼のおける旅行代理店を選べばよい。

12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

同上。

13. 治安、緊急時の心得

13-1 暴動、クーデターなど

(1) 緊急時の連絡

日本人会の連絡網があるほか、在インドネシアの専門家にはJICA事務所からの連絡網もある。有事の場合は、総領事館またはJICA事務所の指示に従う。

1994年初めに労働者のストライキがエスカレートして暴動が発生した例がある。

13-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

盗難、ひったくりなど少なくない。

(2) 防犯対策

該当情報なし。

(3) 被害時の心得

被害を受けた場合は、総領事館を通して警察に届ける。

13-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

大きな被害が発生した例は特にない。

(2) 防災対策

該当情報なし。

(3) 被災時の心得

該当情報なし。

14. 出入国手続および帰国手続

14-1 入 国 時

- (1) 空港施設概要
該当情報なし。
- (2) 入国手続書類
該当情報なし。
- (3) 入国審査
まず、検疫でアフリカ地域への旅行の有無を聞かれ、次に入国審査においてパスポートと入国カードを提示する。
- (4) 税関検査
最後に税関検査である。木箱、段ボールなどで梱包したものは厳しく検査される。課税対象となった場合は、税金を払って、なるべくその場で引き取るようにする。なお、税関申告書は必ず記入し、いつでも提示できるようにしておくこと。調整員、専門家は原則として税関内には立ち入れない。
- (5) 空港内での留意点
該当情報なし。
- (6) 空港からのトランスポート
タクシーを利用できる。
- (7) その他の留意点

14-2 出 国 時

- (1) 出国時の概要
該当情報なし。
- (2) 出国手続上の留意点
再入国ビザは JICA 事務所を通じて取得しておくこと。専門家は公用パスポートであるため、出国審査の前に、出国税免除の手続をする必要がある。

14-3 帰国手続

- (1) 帰国時に必要な事務手続
JICA 事務所作成の手引きを参照されたい。
- (2) 車の処分
同上。
- (3) 家財道具の処分
同上。
- (4) 住宅の明け渡し
同上。
- (5) 外貨持出し規制
同上。

15. 私財の輸送、引き取り、購入

15-1 家財道具

(1) 輸送業者

業者は次のとおりである。

P. T. Sumatera Packing & Transportation

Jl. Taruma 31 TEL 515922

日本通運のメダン代理店である。

日本通運ジャカルタ事務所は、(021) 5706180、5706210 である。

P. T. Crown Pacific

Jl. Candi Borobudur 8A TEL 324862

インドネシアでは、国外から荷物を持ち込む場合、手続がやかいで、日数がかかり、ときに法外な手数料を請求されることがある。それを避けるため JICA 担当者の指示を受け、また、以下を参考にスムーズに処理できる方法を選ぶこと。

(2) 輸入手続

引越し荷物の海送—ドアツードアのサービスを専門業者が行なっている。しかし、当地では引き取るまでに長時間かかること（5～6ヵ月かかった例がある）、引き取り手続がやかいなこと、引き取りのため余分な手数料を請求されることなどのため、すすめられない。

アナカン—手荷物超過料金よりも安いのが、引き取りに日数がかかること（1ヵ月あるいはそれ以上）、手数料を要するなどの欠点がある。

超過手荷物—通常ひとり20キログラムまで無料だが、JICA 専門家の場合、大幅の超過荷物を無料で運んでくれることが多い。ただし、普通は東京～シンガポールのみ、シンガポール～メダンは JAL ではないのでこのサービスは適用されない。旅行代理店とよく相談すること。

メダン空港で、荷物について税金を請求された場合、できるだけ交渉すること（低額になることもある）。また領収証を受け取ること。

荷物のあて先は、総領事館気付とする。

c/o Consulate-General of Japan

Jl. Suryo 12, Medan, North Sumatera

(3) 家財道具の購入

メダンでは日常生活用品のほとんどすべてが手に入るの、なるべく身軽に赴任し、必要なものは当地で揃えるようにするとよい。

15-2 自動車

(1) 一般状況

乗用車の持ち込み（輸入）は、外交官を除いて、新車、中古のいずれも許可されない。

(2) 輸入手続

該当情報なし。

(3) 任国での購入

車の購入には2つの方法がある。ひとつはジャカルタで組み立てられた新車（ト

ヨタ車のみ)を免税で買う方法(長期専門家は免税車なら1台購入できる)、もうひとつはメダンで新車あるいは中古車を税込みで買う方法である。

購入時や売却時の時間的ロスや手続のやっかさを考慮に入れると、任期1年の専門家はメダンで中古車(あるいは新車)を購入することが望ましい。さらに長期にわたる専門家には、免税車の購入をすすめる。

免税車はジャカルタのトヨタアストラ社から購入する。ジャカルタのJICA事務所へ購入申し込みをすれば、手続を代行してくれる。

1990年型新車の価格は、次のとおりである。(1990年1月)

トヨタコロナ2,000ccセダン 2,700万~3,200万ルピア

カローラ1,600ccセダン 2,100万~2,500万ルピア

いずれもエアコン、ラジオ、時計付きである。申し込みからメダンでの入手まで5~6ヵ月かかる。購入した車は次の専門家に引き継ぐことはできないので、帰国前に特定の業者に売却することになっている。

税込みの新車あるいは中古車の購入は、比較的短期間(7~10日)で入手できる。インドネシアでは日本と比較して中古車が高いので200万~250万円の自己資金を用意するか、JICAあっせんの融資を利用することをすすめる。

その他の方法で購入した前任専門家の車を後任専門家が引き継ぐ場合は、常識的な減価償却を勘案し、当事者間で話し合って価格を決定する。

(4) 自動車登録

車の登録、ナンバープレートの更新、免許証の取得、書き替えについては、直接自分ですと言葉の問題もあり、申請手順も複雑で、さらに時間的ロスもあるので、専門の代理店に手続を代行させる方が得策である。

登録料は1件22万ルピアである。(1991年12月)

(5) 免許証取得

上記参照のこと。

(6) 保険、税金

自動車保険は保険会社が数社あり、保険料は、トヨタカローラ中古車で年間約60万ルピアぐらいである。(1991年12月)

16. 社 交

16-1 風俗習慣

当地はインドネシアの他の地域に比べキリスト教徒が多いものの、メダン市民の60%以上はイスラム教徒である。イスラム教徒には生活に密着した宗教上の生活習慣がある。例えば豚肉を食べない、アルコール類はあまり飲まない、左手は不浄であるなどである。赴任前にイスラム教についての一般的知識を得ておくといよい。

16-2 パーティでの留意点

該当情報なし。

16-3 来客時の留意点

該当情報なし。

16-4 訪問時の留意点

該当情報なし。

16-5 禁止されている言動

該当情報なし。

17. 任国官公庁

該当情報なし。

18. 在外日本関係機関など

在メダン日本総領事館

住 所 Jl. Suryo 12, Medan, North Sumatera

電 話 531192

ファックス 511447

執務時間は平日 8:30～16:00、土・日曜日およびインドネシアの祭日は休み
である。

19. 地方都市

該当情報なし。

任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は、国際協力のために赴任されるJICA長期派遣専門家、JICA職員等の方々に、任国での生活上必要な最新の情報を提供する目的で作成されました。

本書の原データは国際協力総合研修所内のデータベースに蓄積されており、新しいデータが入手され次第、逐次更新できるシステムにしております。

現在までに、下記の国々について任国情報が整備されております。なお、政府技術協力のために赴任するJICA役職員および派遣専門家は、技術協力協定や要請文書などの外交関係により、任国への入国および滞在にあたって特別の条件が付され、一定の義務が免除されるなどの特権が付与されています。本情報はこれらの条件に基づいた赴任マニュアルです。したがってご利用はJICAの用務による業務渡航者に限らせていただいております。

また、本情報は外国人専門家という特殊なステータスによる生活ガイドであって、それぞれの国の人々の一般的な暮らしを紹介するものではありません。各国の一般的な各種事情については、JICA図書館に多数資料をそろえておりますので合わせてご利用ください。

-----アジア地域-----

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア
(ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、メダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム

-----中近東地域-----

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブ・ダビ、ラシド)
16. イエメン (サナア)

-----太平洋地域-----

1. フィジー
 2. キリバス
 3. ミクロネシア
 4. パラオ
 5. バブア・ニューギニア
 6. ソロモン諸島
 7. ヴァヌアツ
 8. 西サモア
- 欧州地域-----
1. カザフスタン
 2. キルギスタン
 3. ポーランド
 4. タジキスタン
 5. トルクメニスタン
 6. ウズベキスタン
 7. ハンガリー

-----アフリカ地域-----

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. コートジボアール
11. ケニア
12. リベリア
13. マダガスカル (アンタナナリボ、ディエゴ・スアレス)
14. マラウイ
15. モーリシャス
16. モザンビーク
17. ニジェール
18. ナイジェリア
19. ルワンダ
20. サントメ・プリンシペ
21. セネガル
22. セイシエル
23. ソマリア
24. タンザニア (ダルエスサラーム、ザンジバル)
25. トーゴ
26. ザイール
27. ザンビア
28. ジンバブエ
29. スワジランド
30. ボツワナ

-----中南米地域-----

1. アルゼンティン
2. ボリビア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオデジャネイロ、ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグアイ (アスンシオン、エンカルシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグアイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグア

「任国情報（インドネシア・メダン編）1995年版」
平成7年3月20日発行
編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所
〒162 東京都新宿区市谷本村町10番5号
電話 (03) 3269-2357
編集協力 財団法人 日本国際協力センター

1
